

五術家列伝

記者あがりの易者

佐藤六龍



ではないことが保証されたとしても、多くの人々が亡くなられたり、負傷されたりした同じ建物の中で、事故以前同様に暮らすことはできないと

いう気持ちは察するに余りがあります。定年後あのマンションで悠々自適に暮らすつもりだった方、あのマンションで子供を育て家族円満に暮ら

そうと夢いっぱいだった人々、そうした人々の思いが一瞬にして崩壊してしまつたのです。五術の正しい風水家相で、良い地形に良い吉相家相の家

を建てて暮らすことが、いかに大事かということをつくづく思いしらされました。最後に、事故にあわれた方のご冥福をお祈りします。

(文中敬称略)

たのです。

天勝というのは、当時の奇

ス(シックス)と大声を発する

今回の石川雅章は、もとも

わかりよく明快な文章は、

術界を背おつた女性で、その

松代参の廣沢虎造(何代目?)が右、左がこの天勝なのです。

この前身は新聞記者というこ

いかなる人が読んでも納得の

美貌と豊満な肉体を売り物に

石川雅章は、この天勝一座

とだそうです。それから初代

いくのが名文なのです。その

した一座です。天勝は師が天

から、あの姓名学の初代熊崎

天勝という一世を風靡した大

上にどんな占術でも知ってお

一でよい上に、大道具に宮大

健翁に乞われて、熊崎の占術

奇術女王の天勝一座のマネー

り、記者あがりですから、雑

工あがりの名人を擁し、大道

事業の一端をになつたのです。

ジャーや宣伝をやつた人です。

学にも知識があつたのです。

具の魔術を売り物にした一座

この事は前にも書きましたが、

なにしろ文章がたつのです。

小生は中村文聰の紹介で知り

でした。縄抜けの奇術をやる

への送り出しの宣伝をになつ

当時の五術家は漢詩漢文は書

合い、何度もお会いし、ずい

ときに、その豊満な肉体を見

たのが石川雅章です。中村文

けても、大衆にわかりやすく

ぶんいろいろと教えていただ

せながらワン・ツー・スリー

たのが石川雅章です。中村文

文を書ける人は数が少なかつ

きました。

・フォー・ファイブ・セック

聰・加藤大岳・中垣巖人は占